

3学科は食のスペシャリストを育成する。

生活科学部
栄養科学科
管理栄養士

短期大学部
食物栄養学科
栄養士

短期大学部
総合生活学科
フードスペシャリスト



時代の要請に対応した管理栄養士育成に向けて、平成十八年度に開設。四年間の課程では、教養教育課程と専門教育課程を設け、保健・医療・福祉などの現場で幅広い視野のもとに判断できる人材育成を図ります。保健医療チームの一員として、高齢化社会における豊かな人間性と高い専門性を備えた栄養管理者として、二十一世紀社会の健康と栄養の問題に積極的に貢献するための教育と研究に取り組めます。卒業と同時に栄養士資格と管理栄養士国家試験の受験資格も取得できるため、卒業後すぐに管理栄養士としての道が開かれます。

基礎理論から学外での実習にも力を入れ、即戦力として社会に役立つ深い専門知識と実践的な技能の習得に重点を置いた教育を推進。建学の精神にもとづく高い教養も身につけた「食の専門家」の育成をめざしています。卒業生は、病院や福祉施設などの各分野で九州一円において活躍しており、県内の栄養士・管理栄養士の70%を占めています。卒業後は、三年間の実務経験をを経て管理栄養士国家試験の受験資格を取得。試験合格者は全国における短期大学のトップグループに入っており、その教育課程に高い評価を得ています。

フードスペシャリストとは、食品企業やホテル・レストランなどで食品の味の評価、顧客に対する情報提供・販売促進、快適な食事をコーディネートする専門職です。これまで流通や販売といった消費者に近い位置には専門家があまりいませんでした。そこで消費者サイドに立つ「食」の専門家として誕生したのがフードスペシャリストです。本学はフードスペシャリスト養成認定校なので、所定の単位を修得して、資格試験に合格すれば資格を取得できます。将来、食品の流通・販売、ホテル、レストランなど「食」に関する仕事に就きたい人にはお勧めの資格です。



山本 麻美 (18才)
阿蘇高校出身

◎この学科を選んだ理由
私は小学生の頃から給食が好きで給食の先生も優しく様々な事を教えて下さるとても良い先生だったので、私もそのように思われる栄養士になりたいと思います。基礎からしっかり学ぶ事ができるこの栄養科学科を選びました。

◎入学して良かったこと
同じ夢に向かって頑張っている人達に囲まれて、共に努力し成長できること、きちんとした施設が整っている環境で勉強に打ち込むことができることが入学して良かったことです。

◎将来の希望職種
給食に携わる仕事



安川 裕香 (18才)
玉名高校出身

◎この学科を選んだ理由
私は小さい頃から料理をしたり料理の本を読んだりする事が好きで、食べる事が大好きでした。そこで、食に関する仕事に就きたいと思い、病気の人も健康でかつ楽しく食事ができるような献立を考えられるような管理栄養士になりたいと思います。この学科を選びました。

◎入学して良かったこと
勉強しやすい環境が整っている。
先生が熱心に教えて下さる。
友達もみんな優しく、自分の夢にむけて努力をする人が多い。
少人数なので、生徒全員と関わる機会が多く、先生方も個人授業を行っている感じがして授業に集中できる。
基礎から丁寧に授業を教下さるので、化学や生物を学んでいなくても分かりやすい。

◎将来の希望職種
1.病気の一人一人と向き合い、個人個人に合った食事を考えられる管理栄養士。
2.献立作成だけではなく、自ら病院や学校で調理をしてみたいです。
3.子供や大勢の人に食の大切さや楽しさをきちんと指導できる人になりたいです。



野村 玲子 (18才)
第一高校出身

◎この学科を選んだ理由
私は、将来管理栄養士となって高度な栄養知識を身につけ、社会の役に立ちたいと思ったからです。また、栄養科学科は4年制大学であり、取得資格も幅広く、将来の視野も広がると思ったからです。

◎入学して良かったこと
・管理栄養士に関する専門分野が多く学べる。
・教科書が化学、生物を習っていない人のためにもわかりやすいものが選ばれている。
・教養教育課程で英語コミュニケーション能力、文章表現能力の習得など、国際社会で働きたい人にとって大変うれしい。

◎将来の希望職種
1.スポーツに関する管理栄養士
2.選手村で役立てるような管理栄養士



長田 歩 (18才)
熊本北高校出身

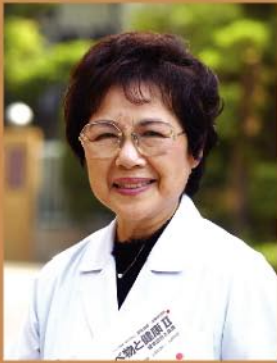
◎この学科を選んだ理由
私がこの道に進もうと決心したのは高校3年生の時でした。管理栄養士という資格を持ち、看護師や理学療法士の方と共に医療現場の一員として働きたいと思ったからです。だから、管理栄養士養成課程である栄養科学科を選びました。

◎入学して良かったこと
・講師の先生方に気軽に相談できるので、安心して大学生活を送ることができる。
・設備の充実した新しい校舎で学べる。
・基礎セミナーで自己表現力や自分の頭で考える力をつけることができる。
・専門的なことだけではなく、いろいろな知識を得ることができる。

◎将来の希望職種
1.管理栄養士になって、医療機関で働きたい。
2.地域の老人介護施設や保育園などで栄養管理の仕事がしたい。

生活科学部のニューフェイス

地域が求める人材育成に期待。



尚綱大学生活科学部教授
社団法人熊本県栄養士会前会長
銚吉 さん

栄養士会の運営に携わった経験から感じるのは、尚綱学園出身の方々は地域社会が必要としている管理栄養士、栄養士像にぴったりと合致しているということ。これからの現場が求める人材を象徴するキーワードは「連携と共働」。高度な知識と技術の習得はもちろん、高いコミュニケーション能力を備えていることが必要です。この点で、尚綱学園は建学の精神に基づく教育により、穏やかで礼儀正しい人格を備えた人材を輩出し、高い評価を得ているのです。今年開設した栄養科学科では、県下有数の最新設備を用い、今まで以上に高度な教育が行なわれます。4年後、時代のニーズに即応できる能力を備え、地域社会におおいに貢献できる新しい管理栄養士の誕生を楽しみにしています。